

駒澤会だより

第33号

令和2年7月21日
駒澤大学駒澤会発行

「大衆の威神力」を今こそ

総長

永井政之
(駒澤会名誉会長)

昨年末に始まり、今年に入ってから新型コロナウイルス蔓延による被害の拡大はあっという間もなく地球全体を覆いつくしました。

さまざまな出来事があった「平成」から、「令和（素晴らしい平和な時）」を迎え、50余年ぶりのオリンピック、続いての万国博覧会と、あたかも昭和40年代と同じような「右肩上がりよ、もう一度」という目論見や願いも、一気に吹っ飛んでしまいそうです。コロナの蔓延は今更の如く「生老病死（四苦）に例外なし」の真実を私たちに突きつけました。教育の分野も対応を迫られ、昨年度の卒業式、新年度の入学式は中止となり、前期は「三密」を避けるためインターネットを介した遠隔授業が行われています。このような状況の収束にしばらくの時間が必要なことは自明です。

学生を取り巻く経済上の問題も深刻です。すでに駒澤会からは、毎年、成績の優秀な学生に対して多額の奨学金を給付いただいておりますが、本学としてさらなる援助を行うべく、学生全員に1人5万円の「緊急修学支援金」を支給することといたしました。さまざまな形での援助が、有為な学生諸君がより一層の学びを続けるための「早天の慈雨」となることを念願しております。

今まで以上にAI（人工知能）を重視せざるをえない社会全体の動向はもとより、9月入学にはじまる教育の改革を通して世界の教育に互していこうという意見など、コロナ後の社会の変化を予想し対応を求める声は枚挙に暇ありません。環境問題にはじまり、グローバル化の一方で自国中心主義が台頭し、民主主義を唱えつつも全体主義が芽吹いているような今を、より望ましい方向に向かわせるのは「全員の力」、とくに若者の自覚であることは言うまでもありません。そのような想いが結集して、この難局がよりよい方向への「基点」となることを念じます。

駒澤大学を愛して止まない方々の集まり「駒澤会」の皆さまの、さらなる御協力を御願いするとともに、駒澤会の益々の発展を祈念いたします。そして本会報が会員各位のお目にとまる頃には、新型コロナウイルスに関わるさまざまな事柄が収束を見せ、先行きが見通しうような状況になっていくことを期待しています。

令和2年7月吉日



令和2年度 委員総会書面会議開催報告

駒澤会 事務局

令和2年5月23日（土）駒澤大学深沢キャンパスで令和2年度委員総会ならびに懇親会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染流行の影響により「書面会議」にて開催する運びとなりました。

駒澤会会員全員に会議資料を送付し、報告事項及び審議事項に対する皆様方からの返信ハガキをまとめた内容について以下のとおりご報告申し上げます。

【報告事項】

1 令和元年度各部活動報告の件

総務部・広報部・厚生部それぞれ報告

2 令和元年度決算及び基金管理状況の件

3 会計監査報告の件

会計監査も書面会議にて行なわれましたが監査3名全員から収支状況は適正である事が報告されました

以上、第1～3号議案は、過半数に達したため了承されました。

【審議事項】

4 令和2年度各部活動計画の件

総務部・広報部・厚生部それぞれ提案されました

5 令和2年度予算案の件

6 役員改選（案）の件

会長の交代や、新役員について提案されました

以上、第4～6号議案は、過半数に達したため承認されました。

また、事務局報告資料として令和2年度駒澤会年間行事予定と、令和元年度駒澤会入会者数・奨学金について添付しました。

新型コロナウイルス感染防止のためやむを得ず書面会議にて開催するに至りましたが、全国の駒澤会会員から100通の返答ハガキをいただき、多くの意見を求める事ができたことを嬉しく思います。

ご意見やご提案など、回答にご協力いただき誠にありがとうございました。

来年度は新型コロナウイルスが終息し、駒澤会会員の皆さまにお会いできる事を楽しみにしております。

【駒澤会 会長交代のお知らせ】



会長就任挨拶

第9代会長

いちのへ たかお
一戸 隆男

駒澤会事業につきましては、毎々ご配慮ご協力を賜り、大変有難く厚く御礼申し上げます。

さて、今般、4期8年の長きにわたり第8代会長として絶大なリーダーシップを発揮され、駒澤会の発展にご尽力されてこられました森屋会長から、この伝統ある駒澤会会長の襷を引き継ぎ、新会長にご指名頂きました一戸隆男と申します。

就任にあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

私は、平成15年に駒澤大学教育後援会の会長を務め、その後、平成16年に駒澤会に入会し現在に至っております。昨、令和元年度は副会長として森屋会長が会の運営に大変なご苦勞をされておられた姿を間近で拝見しておりましたので、第9代として、その跡をお引き受けすることに名誉とともに重大な責任を感じております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により波乱の幕開けとなり、不安もございますが、会長職をお受けした以上は、当会の伝統を重んじながらも、将来の布石も熟慮し、なおかつ楽しい駒澤会とするべく、当会役員の方々をはじめ会員皆様のご協力を得ながら努めて参る所存でございます。

駒澤会会員の皆様方には、引き続き、ご支援ご高配を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



会長退任挨拶

第8代会長

もりや まさはる
森屋 正治

新型コロナウイルスの流行により波乱の幕開けとなりました令和2年ではございますが、過去に例を見ない「書面による委員総会」実施という形をなんとか取り付けることができ、駒澤会役員および会員各位のおかげさまをもちまして役員会よりご提案致しました役員改選案が無事に承認され、これをもちまして4期8年務めさせていただきました駒澤会会長の職を辞することとなりました。今後は顧問として尽力いたします。長年に渡り本会をお支えいただきました駒澤会役員および全国の会員、教育後援会、同窓会、そして大学関係者の皆様方へあらためて心より御礼を申し上げたいと存じます。

8年間の会長在職中にはいろいろなことがありましたが、募る思いは昨年発行の「駒澤会だより32号」で述べさせていただいた通りでございます。その中で改めて言わせていただくならば、駒澤会は縁あって結ばれた駒澤大学との絆を維持しつつ、大学を応援し、その会員相互が親睦を深めながら多様な行事を楽しみ合う「エンドレスの会」であるということです。その信念はしっかりと次期会長である一戸氏に託しました。一戸会長を筆頭に今後さらなる発展を遂げるであろう「駒澤会」を、皆様どうぞよろしくお願い致します。

以上、駒澤会の発展と、大学の更なる飛躍を祈念し、退任の挨拶といたします。

8年間本当にありがとうございました。

駒澤会新役員紹介

役員任期：令和2年5月～令和4年5月

※森屋前会長は顧問に、三崎前副会長と久野前監査、村田元副会長は相談役に就任されます。



会長
一戸 隆男



副会長
赤堀 菊絵



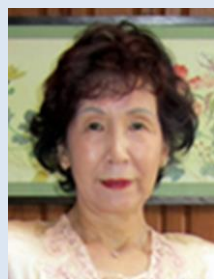
副会長
山田 直重



副会長
木村 朋子



監査
市川 よし子



監査
荒井 喜久子



監査
三浦 ひろ子



総務部長
堀 純一郎



総務部副部長
軽部 雅美



総務部副部長
堀内 和代



広報部長
齋藤 和子



広報部副部長
山本 久美子



広報部副部長
桐畑 秀司



厚生部長
滝沢 憲示



厚生部副部長
楠 有紀子



厚生部副部長
吉田 稔

令和2年度も教育後援会の会長・副会長に参与をお勤めいただきます。

【駒澤会】
参与のご紹介



教育後援会会長
参与 石井 晋一



教育後援会副会長
参与 内海 吉雄

駒澤会新年賀詞交歓会

広報部 部長・齋藤 和子



令和2年2月11日、セルリアンタワー東急ホテル39階「ソレール」にて、恒例の「駒澤会新年賀詞交歓会」が開催されました。

当日は駒澤大学、同窓会、教育後援会、駒澤会会員で、総勢44名の方々にご出席を賜りました。

森屋会長は開会挨拶において、本年度限りでの退任を明言されて、長年にわたり駒澤大学の発展に関わってこられた事への感謝の気持ちを表されました。

池田魯参前総長の体調不良により、途中交代された永井政之総長は、「駒澤会についてよく勉強するように言われている。縁を繋ぐ会として、楽しくやらせて頂く。」とご挨拶され、長谷部八朗学長からは、奨学金等、駒澤会への感謝の言葉とともに、東京オリンピックに駒澤の学生の力が期待されていて、近く小池都知事とのディスカッションも予定されているなど大学の様子が窺えるお話がありました。

大学当局の方々のお話を間近で伺えるのは、駒澤会だからこそで、先生方も飾らず、率直にお話しくださいます。この様な機会は珍しく大変貴重な場で、ここに毎年出席させて頂いて、とても有難く思っております。大谷哲夫元名誉会長の「駒澤会を老人会にしてはいけない。」とのユーモアたっぷりの乾杯の音頭で、一気に場が和み、笑いの渦と共に宴会が始まると会場のあちらこちらで談笑する姿が見られる様になりました。

萩野同窓会会長、田中教育後援会会長からは学生のため力を合わせて応援していきましょと、より深い連携を誓うご挨拶も頂きました。今年は教育後援会の委員さんも大勢ご出席くださり駒澤会の様子も分かって頂けたのではないのでしょうか。

皆様方と共に、美味しいフレンチに舌鼓を打ち、ビンゴゲームで盛り上がると、いつの間にか気持ちも一つになり、この会が駒澤大学を繋ぐ会として、重要な位置に有ることを実感致しました。



[集合写真]



[森屋会長のご挨拶]

教育後援会 新年賀詞交歓会に参加して

総務部 部長・堀 純一郎



毎年恒例の駒澤大学教育後援会新年賀詞交歓会が2020年1月11日(土)にホテルニューオータニ「芙蓉の間」で盛大に開催されました。今回は、駒澤会からは森屋正治会長はじめ執行部の皆さんのほか、役員数名が参加する機会に恵まれました。

教育後援会の田中弥生会長は、教育後援会60年の歴史の中で初の女性会長として冒頭の挨拶に立ち、保護者代表としてのみならず保育士としての視点を織り交ぜながら、我が子の成長を支援してきた大学と後援会、同窓会、駒澤会に対する感謝の言葉を述べられました。長谷部八朗学長からは大学を代表して、あらためて“学生ファースト”で進めてきた教育方針について語られました。

印象的だったのは、今年で2期6年の任期を迎えられる同窓会の萩野虔一会長、4期8年を迎えられる駒澤会・森屋会長から、大学と会に対して情熱を持って取り組まれてきたことと感謝の言葉が述べられたことです。お二人は各会の今年の総会にて退任されます。教育後援会を含めて大学を支える三本の矢として、長きにわたりご尽力いただいた功績に感謝の意を表したいと思います。

ステージでは駒澤大学卒業生を招き、人力舎所属「アナクロニスティック」によるお笑いショー、「花仙(かせん)」さんによる江戸太神楽(曲芸)が披露され、大いに楽しませてくれました。お楽しみの抽選会では、総務部副部長の軽部雅美さんに、なんと三等賞のディズニーランド・ペアチケットが大当たり。熱心に活動しているとご褒美があるものですね。今年も、美味しい料理に舌鼓を打ちながら、大いに楽しんで、参加者全員が交流を深めることのできる新年会となりました。



[教育後援会の執行部・役員の方たち]



[森屋会長(左から3番目)はじめ駒澤会執行部の皆さん]



左:人力舎所属「アナクロニスティック」によるお笑いショー
右:「花仙(かせん)」さんによる江戸太神楽(曲芸)



[ディズニーランド・ペアチケットをゲット!
大喜びの総務部副部長・軽部雅美さん]

箱根駅伝ゴール応援

副会長・山田 直重



1月3日は第96回箱根駅伝に出場の駒澤大学チームを応援に行きました。

応援場所は大手町ゴール少し手前の常盤橋付近で、駒澤大学教育後援会の皆さんと一緒に声援を送りました。教育後援会応援団は田中弥生会長をはじめ総勢50名の大応援団でした。

東京オリンピックが開催されるためか例年以上に箱根駅伝が注目を集めております。過去2013年から3年間箱根駅伝を走った駒澤大学卒業生の中村匠吾選手がその東京オリンピックマラソン代表を決めている事もあるのか、集合した駒澤大学チームの応援団は高揚感に溢れていました。

今年のレースは先頭の青山学院のアンカーが午後1時半頃には応援場所の前を通過しました。例年より10分くらい早く1位の選手が現われた印象を持ちました。選手のトレーニングの賜物かシューズのおかげか選手の走りが早くなっている事を実感しました。駒澤大学のアンカーは8位でのゴールとなり来年のシード権は確保しました。シード権確保の結果に集まった応援団も一安心と言うところでした。午後2時頃には最後の選手もゴールし、駒澤会森屋会長や数名の駒澤会メンバーは東京駅ビル内で開催された教育後援会主催の懇親会に参加させて頂きました。

来年こそは駒澤大学の優勝をとエールを交換しあった和やかな懇親会を終え解散となりました。



[熱いエールを送る応援指導部ブルーペガサスの皆さん]
写真提供：体育会応援指導部ブルーペガサス



[ルーキーながら活躍した田澤 廉]
写真提供：駒大スポーツ

駒澤会 広報部部長、卒業にあたって

監査・荒井 喜久子



娘が駒澤大学高等学校に入学。男子校から男女共学になって2年目のことです。高校で3年間、大学で4年間、私も父兄として、文化部の役員で頑張りました。

娘が卒業して20年になりますが、私だけ駒澤会におります。娘の高校在学中は春の選抜野球大会に出場し、甲子園球場まで父兄として子供たちと共にバス6台で応援に行きました。1回戦は勝って、父兄は帰りましたが、子供たちは、京都のお寺に宿泊させてもらい残ったのが思い出です。大学では箱根駅伝で毎年優勝し、読売新聞社前まで応援に行き、1月3日は、いつも駅伝デーでした。

私も娘の学生時代は、文化部部长として頑張ってきました。娘の卒業後も駒澤会として、また、広報部部长として、駒澤大学を応援し続け現在に至ります。その間、色々な思い出を残してくれた娘にも感謝しています。娘も結婚し2児の母となり頑張っています。

私も広報部部长として、10年間、駒澤会の会報を担当し、色々な方とも出会い、人生の勉強にもなりました。この度、その広報部部长を卒業し監査という役をいただきました。

20年という長い年月を共に過ごした駒澤会、また、次に素晴らしい駒澤会の方々と共に駒澤大学の3本柱として、応援していくことになりました。ありがとうございました。



[広報部の紹介をする荒井部長]



[広報部会の様子]

- 基金管理委員会からのお知らせ -

基金管理委員会より、前回会報にてご報告した以降の運用状況について、以下のとおりお知らせ致します。

- 役員会における承認をもって、数年取引の無い「SMBC 日興証券」と「三菱 UFJ モルガンスタンレー証券」は口座の運用見込み無しと判断し契約を解約いたしました。

運用先	12月～5月までの利金	備考
野村証券	78,759円	みずほ・三菱UFJ社債
みずほ銀行	34円	定期預金利息
世田谷信用金庫	7,629円	定期預金利息
合 計	86,422円	

基金管理委員会 委員長

- 各部入部のお誘い -

駒澤会会員の皆さまに、駒澤会の運営に携わる各部への入部をお誘いしています。

会の運営は、以下の3つの部に分かれて活動しています。2～3ヶ月に1度ほどのペースで会議を行っています。

ぜひ一緒に、駒澤会の活動を盛り上げましょう！入部をお待ちしております。

希望される場合は、駒澤会事務局・谷国（タニクニ）までご連絡ください。

TEL:03-3418-9189/FAX:03-3418-9190

総務部	駒澤会の規程や運営費について検討し、活動がスムーズに行われるよう全体的な調整をしています。
広報部	会報誌「駒澤会だより」の発行やPR活動を中心とし、制作経験の有無にかかわらず、様々な意見を出し合い和やかに進めています。
厚生部	会員の皆さまが楽しく有意義な時間を過ごせるよう、各種行事を検討しています。

- 入会者ご芳名 -

駒澤会にご入会いただき誠にありがとうございます。新規会員の皆様のご芳名を掲載させていただきます。今回は令和元年12月1日から令和2年5月末日までの期間にご入会いただいた36名の方を掲載します。なお、掲載の同意が確認できなかった方は匿名とさせていただきます。

金子 康芳 様	森田 清昭 様	串山 晋吾 様	田畑 千晴 様
原田 とも子 様	高橋 ゆり子 様	葦名 英徳 様	石田 清貴 様
後藤 尚彦 様	廣瀬 良弘 様	増根 好夫 様	金子 富士恵 様
坂本 勝己 様	木村 美智夫 様	北村 俊浩 様	木村 由里子 様
八木 武志 様	阿野 安雄 様	田村 正美 様	望月 洋昭 様

他匿名16名

大学の近況報告

ここでは前号を発行した12月以降に大学で起きた様々な出来事の一部を報告させていただきます。

- 1月** 第96回東京箱根間往復大学駅伝競走 第8位
- 3月** 新型コロナウイルス感染防止のため卒業式中止
- 4月** 新型コロナウイルス感染防止のため入学式とオリエンテーション等の中止
- 5月** 前期オンライン授業開始

事務局からのお知らせ

【大学行事予定】		【駒澤会行事予定】	
8/1~9/15	夏季全学休業期間	7/11	役員会
9/16~	後期授業開始	8/20	教育後援会との懇親会
10/15	第138回開校記念日	10/17	役員会
10/30~11/1	オータムフェスティバル（開催未定）		

※10月10日（土）～11日（日）に開催を予定していた「秋の研修会」は中止が決定いたしました。

※新型コロナウイルスの影響で行事予定を調整しているため、変更になる場合がございます。ご了承ください。

☆☆☆☆☆☆ 駒澤会新規会員募集中 ☆☆☆☆☆☆

駒澤会では新規会員を随時募集しております。ご友人、お仲間に駒澤大学ご出身のお子さまがいる方はいらっしゃいませんか？

縁のある駒澤大学を応援しつつ、様々な行事を通して楽しく交流しましょう♪♪

駒澤大学では、学生の学びの機会の確保と教育研究の維持発展を目的として「駒澤大学教育研究振興募金」を設立しております。

募金を通じた更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

詳細はこちらからご確認ください。

 <https://www.komazawa-u.ac.jp/bokin/education.html>



編集後記

相談役 村田 保廣

新型コロナウイルスの蔓延で世界中が騒然としており、「駒澤会だより」も集会が出来ないため文書のやり取りでやっと発行にたどり着けました。事務局の御苦労と負担は実に大なるものがありました。感謝の気持ちでいっぱいです。幸いにも駒澤大学では、学生、教職員や同窓会・教育後援会の役員、駒澤会会員など、感染があったという情報は今のところ届いていない様です。

一刻も早いワクチンの開発が待たれますが、ウイルスもどんどん変化してゆくのでもっとこになるから共生が大事という考えもあるようです。取り付いても人が死んでしまつてはウイルス自体も生存出来ない、ゆえに免疫を作るようにウイルスが人体に働きかけると言うのです。

この説は言います「人類とウイルスはそうやって共存してきたのだ」と。

東洋的で仏教の教えにも通じるような考え方だと思います。しかし、その為には丈夫な体が必要です。日ごろから暴飲暴食を避け適度な運動を心がけるようにしたいものです。



【駒澤会ホームページのご案内】

駒澤会	検索
-----	----

スマートフォンはこちらからアクセス →



駒澤大学
駒澤会



駒澤会だより 第33号

発行日：令和2年7月21日

発行者：駒澤大学駒澤会 広報部

〒154-8525 世田谷区駒沢 1-23-1

TEL：03-3418-9189/FAX：03-3418-9190